

コロナ危機から命と生活を守る！ 安倍政権を倒し民主主義的社會主義へ！

民主主義的社會主義運動・Movement for Democratic Socialism 6・27 MDS 阪神集会

- 6月27日(土) 18:00～
- 西宮勤労会館 4階・第8会議室
(JR西宮駅から南西へ徒歩7分
阪神西宮駅から東へ徒歩7分) 資料代 500円



↑ 5月3日・憲法記念日(JR西宮駅前にて)
緊急事態宣言ではなく、検査・医療・生活保障を求めて、
ZENKO・兵庫がアピール行動に取り組みました。

第1部 (18:00～19:15)

- ▶ 基調講演『コロナ危機から命と生活を守る！
安倍政権を倒し民主主義的社會主義へ！』
MDS阪神地区委員長 松谷
- ▶ 映像「DSA (アメリカ民主主義的社會主義者) の闘い」
- ▶ 特別講演
『安倍政権の新型コロナ医療政策の誤り
と闘いの方向性』 医療問題研究会 入江医師

第2部 (19:20～20:15)

- ▶ 講演に対する質問
- ▶ 取り組み報告
- ▶ 『2020 ZENKO in 大阪』のよびかけ
- ▶ 週刊MDSのよびかけ
- ▶ グループ討議
- ▶ まとめ・行動提起

- 安倍政権は追い込まれています。民主的諸権利を強権的に奪った「緊急事態宣言」は、感染症対策ではありませんでした。PCR検査の抑制策は感染を拡大させ、市民を死に追いやりました。特別給付金10万円は、未だ市民に届いていません。宣言により休業を強制しながら、必要な財政支出・補償を放棄し自治体任せにしたことで、倒産・失業など被害はこれから一層深刻化していきます。
- 安倍政権は、黒川氏を検事総長に据え検察をコントロール下に置くことで、自ら直接関与した「桜を見る会」「森友・加計疑獄」をはじめ、秋元カジノ問題、河合公職選挙法違反などを不問に付そうとしていました。しかし、アベ政治への市民の広範な怒りは、検察庁法改悪案の今国会成立を見送りに追い込みました。
- 根本的に誤っているコロナ対策への批判、検察OBからの反対意見書の提出、662人の弁護士・学者などによる安倍の刑事告発、辺野古新基地建設など、憲法と法律を歪め好き勝手に法解釈を変更し、改憲を狙う安倍政権を市民は許してはいません。安倍政権は、PCR検査基準や雇用調整助成金上限枠の変更など、重要政策を幾度となく変え、撤回せざるを得なくなりました。支持率急落は、安倍政権の終焉を示すものです。
- 安倍政権や維新勢力は、グローバル資本利益を最大限守り、市民に犠牲を押し付けてコロナ「出口戦略」を進めようとしています。私たちは、正しい医学的知見に基づく科学的なコロナ感染症対策を確立しなければなりません。MDSは、医療や介護を脆弱化し教育権を奪い、明日を生きられぬ貧困を押し付ける新自由主義路線ではなく、民主主義的社會主義を展望とする人権尊重の平等な社会をつくりだしていくことを訴えます。地域からみんなで声を上げ、安倍政権・維新を倒しましょう！MDS集会にご参加ください！

★主催：MDS(民主主義的社會主義運動)★ <http://www.mdsweb.jp/>

〒536-0016 大阪市城東区蒲生1丁目6-21LAGセンター内 電話：06-6934-8512 FAX：06-6934-8112

担当(松谷)090-3975-0670 メール：gamabui@nifty.com